

2010年5月29日(土)
徳島新聞

丸久3番目 海外拠点 バングラ工場完成

アパレルメーカーの丸久(鳴門市)がバングラデシュで建設を進めていた新工場が完成した。主に日本向けの子供服を生産。6月1日から操業を開始する。同社の海外拠点はタイ、中国に続いて3番目。

新工場は、鉄骨2階建て延べ5376平方メートル。首都ダッカ郊外のアダムジー輸出加工区に建設し、現地法人を設立した。マシン200台、アイロン24台などを備え、

当初は従業員100人体制でスタート。今年末までに550人程度まで増員する計画だ。製品は日本国内の大手量販店や専門店に販売し、将来的には欧米にも販路を広げる。

近年、人件費の高騰や労働力不足が指摘される中国に製造が集中するリスクを回避するのが主な目的。丸久の平石雅浩社長は「建設までは苦勞の連続だったが、将来への大きなステップアップとして喜んでいる。ハイグレードな商品を生産することで、日本の技術力を知ってもらいたい」と話していた。

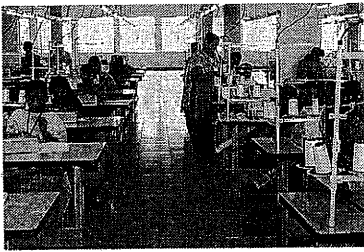
2010年6月2日(水)
日本経済新聞

Bangladesh で工場稼働

子供服の丸久 海外は3カ所目

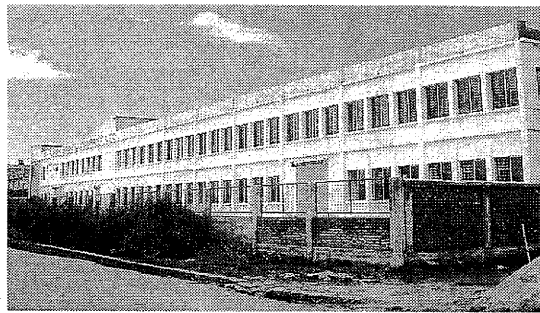
子供服メーカーの丸久（徳島県鳴門市、平石雅浩社長）が Bangladesh に建設していた新工場に写真が完成、1日に稼働を開始した。子供向けカジュアルウェアを中心に当面は年間売上高720万ドル（約6億4800万円）を見込んでいる。投資額は約3億円。丸久の海外工場はタイ、中国に次いで3カ所目。

延べ床面積が約5400平方メートル。ミシン200台、アイロン24台のほか、裁断機、検針器などを備えている。従業員100人でスタート。今年中には550人体制にする。



Bangladesh Factory Work

Children's clothing, casual wear production



Children's clothing (represented by the Bangladesh Public Administration) of the Bangladesh factory is operating daily. Overseas, mainly in China, there are 3 types of products, mainly cotton fabric production. The land area is 165,300 square meters, and the total floor area is 537,600 square meters.

Orders are coming from Europe and the world, especially from the USA (small garment manufacturing) etc. This time as the first period, 3 months of expansion is planned, and the processing of styles is also being expanded.

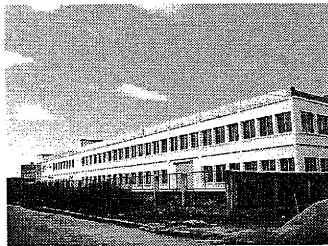
to 2000, 24 sewing machines, 3 ironing machines, 3 cutting machines, 7 sewing machines, 3 sewing machines, etc. The equipment is being replaced. The number of employees is 100. This year, by the end of the year, it is expected to increase to 550 employees. Casual wear production is planned. The production capacity is 30,000 pieces per day. The main retail store and specialist store, the main apparel store, etc. are being expanded.

丸久 バングラ新工場操業

年末までにフル稼働へ

子供服の丸久(徳島県鳴門市)がバン格拉デシュに建設していた自社工場が竣工(しゅんこう)し、1日から操業を開始した。今後は国内外の工場を培ってきた技術を移行し、日本、世界市場に通じる衣料品が提供可能な工場への育成を旨指すと平右雅浩社長。国内量販店、国内専門店を中心に、欧米SPA(製造小売業)アパレルなどの開拓も積極的を進める。

新工場外観



同工場は、海外自社工場のタイ・アユタヤ市、中国・青島市に続く3カ所目。バン格拉デシュ・ダッカ中心部から15

き圏内に位置し、規模は同社の海外自社工場のうち最大。フル稼働状態で550人規模、月産能力は30万枚(子供服アウター換算)で、ニットおよび布帛のカジュアルウェア(プリント加工含む)の生産を担う。設備はミシン200台、延反機3台、裁断機7台、検針機3台、生地検査設備1式など。

操業直後はまず1000人体制から開始。10年末までにフル稼働体制を整備し、年間売上高720万円を目指す。今後はニットおよび布帛の生地製造を含む、第2期、第3期の追加投資も視野に入れる。

近年中国では人件費の高騰や、労働力確保に課題が多い。そのため「第三国への進出」に期待が集まっており、現段階でも既存取引先からの好調受注を見込んでいるという。